

鑄鉄管用トランジションクランプ

Transition Clamp for Cast Iron Pipe

従来、都市ガス埋設配管において、既設ダクタイル鑄鉄管やねずみ鑄鉄管からのポリエチレン管（PE管）による分岐取り出しには、取り出しクランプにトランジションサービスチーズをねじ込む工法が採用されてきたが、非ねじ化が強く望まれていた。

そこで、非ねじ化に加え、全高を低く抑えて他工事からの損傷軽減を目的に、従来のクランプとトランジションサービスチーズを一体化した鑄鉄管用トランジションクランプを開発した（図1）。

1. 構造

トランジションクランプの構造を図2に示す。気密用のパッキンを取り付けた本体を、鑄鉄管にボルト・ナットで締め付けたあと、本体に拡管したPE管と分岐のPE管をEF継手を使って接合する構造とした。

2. 用途

低圧都市ガス供給配管
既設鑄鉄管からのPE管による分岐取り出し

3. 特長

埋設部の非ねじ化により、保安

の向上と施工時間の短縮が可能となった。

分岐部の流路を斜めにすることで全高を極力低く抑え、他工事による損傷の軽減が図れる。

従来の穿孔工具やノーブローバックがそのまま使用できる。

クランプ内面を特殊形状にすることで、圧力損失が従来工法と比較して同等以上の優れた流量特性を持つ。

4. 製作範囲

製作範囲を表1に示す。

（配管機器カンパニー）



図1 従来工法との比較
Fig. 1 Comparison with conventional branching method.

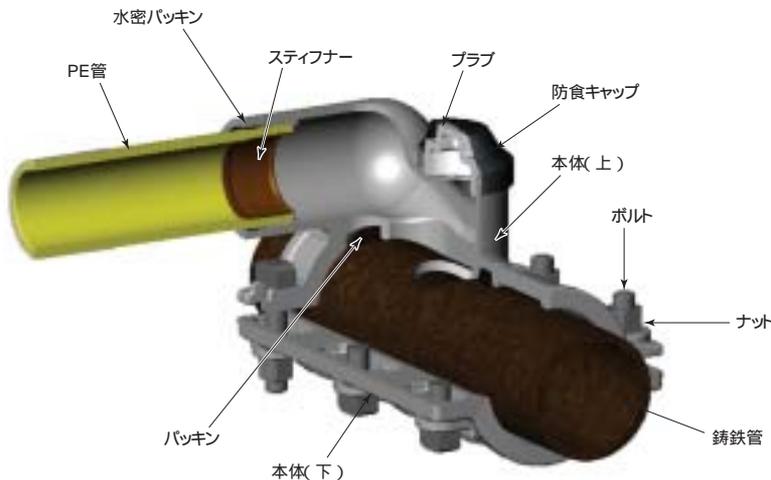


図2 鑄鉄管用トランジションクランプの構造
Fig. 2 Structure of transition clamp for cast iron pipe.

表1 製作範囲

Table 1 Manufacturing range.

呼び	主管	分岐管
100 × 50	100A	50A
100 × 75	100A	75A
150 × 50	150A	50A
150 × 75	150A	75A